京大院生のすべてがわかる

院side OUT!!

vol.42

2026年5月号

院試、就活、学振。進学希望の４回生も院生も不安の尽きないこの季節。「五月病」と言って休んではいられません。今回は昨年度修士課程を修了された２人の先輩に修士２年間の実際を聞いてきました！　進路選択の、研究計画の参考にしてみてください!!

今月の特集

修士２年間の実際

OUT Aさん：徐々に出る研究成果

外部の大学から京大の修士課程に入学しました。そのためＭ１から新たな研究テーマに着手しました。マレーシアの熱帯雨林で野外調査をすることになり、研究内容について勉強しつつ、現地語の習得や過酷な野外調査に耐える体力作りを進めました。日本に帰ってきてからは持ち帰ったサンプルの化学分析をひたすら行いました。

Ｍ１の後半から成果が徐々に出はじめ、修士課程では学会発表を３回行いました。直近の学会ではポスター賞をいただきました。

これらに加えて、修士課程の間に卒論で取り組んだ内容を投稿論文にする作業も進めていきました。2年かかりましたが、Ｍ２の３月に投稿できました。最近（編集部注：Ｍ２の３月）は、修士論文を投稿論文化する作業をしつつ、博士課程での研究計画を練っています。

なお博士課程に進学予定であったこと、実験や調査が忙しかったことから就活はしませんでした。

時期	Aさん：農学研究科	Bさん：農学研究科
Ｍ１春	研究テーマ決め	研究テーマ決め
Ｍ１夏	熱帯雨林の野外調査 ＠マレーシア	インターン参加
Ｍ１秋	化学実験	現地調査１回目 ＠タイ
Ｍ１冬	化学実験	現地調査２回目 学会発表
Ｍ２春	学振申請書執筆	進学準備 論文投稿など
Ｍ２夏	学会発表 野外調査	現地調査３回目
Ｍ２秋	野外調査 修論執筆	学会発表 修論執筆
Ｍ２冬	修論執筆・提出 博士の研究計画策定	修論執筆・提出 博士の研究計画策定

OUT Bさん：就活、のち進学決定

博士進学をするか迷っていたので、Ｍ１の秋頃まで就活をしていました。しかし海洋生物調査のためにタイへ１度渡航した後に進学を決意し、Ｍ１の冬から準備を始めました。

Ｍ２の春にかけて、２回目の調査、ＳＰＲＩＮＧの予約採用、学会、研究費申請、ゼミの中間報告、論文投稿、学振など重いイベントが連続しており、正直しんどかったです（笑）。Ｍ２の夏も学会参加を目指して準備をしていて、秋から本格的に修論の執筆を始めました。

● 新入院生 welcome party を開催しました！

去る４月４日（土）にカンフォーラにて新入院生welcome partyを開催しました。Ｍ１からＤ３まで幅広い学年の院生の皆さんにご参加いただきました。院生委員会では今後も同様の交流会を開催して参ります。





● 院生委員会に興味ありませんか？

院生委員会は当連載「院sideOUT!!」の執筆や食堂での交流会を主催しています。詳しい内容はＸ（@kucoopinsei）で発信しています。ぜひフォローを！

▲X

お問い合わせは以下のメールまで。

E-mail：kucoop.master@gmail.com

はみだしすてーじ

もう１年が入学してから経つのはさすがに怖いです。
→激しく同意します!!　時空が歪んでいることを疑うレベル。

（工・１　海老フライ）
（人生の夏休みはあっという間に……；編）